

# 「みのかもさぼさぽカフェ②7」 あしあと

みのかも  
さぼさぽカフェ



と き 1月23日(水) 午前10時~11時30分  
 と ころ みのかも市民活動サポートセンター  
 テーマ 「活動に若者を巻き込むために」  
 話題提供者・進行 北村 隆幸さん  
 参加者 4名

『地方は若者を排除して、自ら衰退する』(木下 斉 著作より)との投げかけを契機として、本日の課題解決の方向性が提示された。

- (1) ギャップを理解する(若者を理解する)
- (2) そもそも何のために若者が必要なのか
- (3) 若者の活躍する場作り

(1) 若者を理解するために、世代別でアンケート結果を考える必要がある。

(アンケート調査等に関わる留意点)

60~80歳代がアンケートに答える率が最も高い→全体の意見となってしまう(弊害)  
 →世代間のギャップが多いので、その点を配慮する必要がある

(2) そもそも何のために若者が必要なのか。取り組む課題の問題の構造を理解することが大事。

【実践例】小学生の通学路の安全を図りたい

→PTAの役割が大切。このテーマだと、PTA世代を当事者にできる。

関係者との円卓会議を開催(その際、役割を明確にしたうえで開くと有効な話し合いができる)

(3) 若者の活躍する場作りを企画するうえでの3つの視点

- ① 出番と役割(大学生が講師…ライン講習会)
- ② ついでを演出する(中学生の登下校時にゴミを拾う等)
- ③ 既存の若者団体と協働する(まちづくり協議会と連携)

↓ 必要経費と会場提供

受け入れる力(若者や考えの違う人を)の醸成



一人ひとりにとってのメリット感のある取り組みと併せて、一人ひとりに直接声をかける大切さを実感できた時間となりました。

年齢を超えて、お互いを思い合える素敵な美濃加茂市になる取り組みを支援したいと思いました。

**次回は、平成31年2月22日(金) 13:30~15:00**  
**「子どものための活動を知ろう」 お楽しみに!!**

